

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	6年	内容項目	4-(7)
主題名	目標の実現に向けて				
資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・たゆまぬ努力で困難をのりこえる 本居宣長 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会) ・小学社会6年(日本文教出版) ・「社会科資料集」(教育同人社) 				
ねらい	自らで目標を立て、その実現に向けて、たゆまぬ努力を続けていった本居宣長の生き方に出会い、自分を見つめる機会を得る。				
展開	学習活動と主な発問			指導上の要点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 新しくおこった国学について調べる。 2 本居宣長に出会う。 3 「たゆまぬ努力で困難をのりこえる」を読み合う。 4 自分が関心をもったところ、疑問点をグループで聴き合い、考え合う。 5 気づきや感じたことをクラス全体で聴き合う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・事前に調べ学習のテーマとして提示しておき、図書室や資料集やインターネットなどの活用を促す。 ・疑問や関心をもったところを用紙に抜き出させていく。その時、その理由を持たせておく。 	
他の教育活動との関連	6年生の人権総合学習の学習テーマは『生き方モデルを探そう。出会おう。学び合おう』として、進めている。本教材もその視点での出会い学習のひとつであると考えている。				
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・『学ぶことは遅いということはないんだ。何でも途中で断念するのは学問の大敵である』と本居宣長の『うひ山ぶみ』に書いてありました。なるほどなあと思いました。やめたい時とかあきらめそうな時とかにどうやって、続けていったのかな？と疑問でした。『おもしろかったからではないか』とか『先生とかに出会ったからではないか』と意見が出てきたんだけど、ぼくが一番納得したのは、『やりとげたいという強い気持ちがあったからではないか』という意見でした。」との児童の感想から、歴史を学ぶことは、その時代を生き抜いてきた人たちのたくましさや、力強さを創り出し、生み出した知恵や努力に気づかせていくことだと捉え直すことができた。その気づきをしっかりとつかみとる力こそが、本校の学校総体での教育の営みである。 ・子どもたちの興味・関心を学習の糧にしながら、より積極的な学習展開を考えてきたのだが、十分な調べ学習の時間を確保できずに進めていかなくってはならなかったのが課題である。 				